

和泉市景観計画策定にかかるアンケート調査

（１）調査目的

「和泉市景観計画」の策定に向けて、市民の景観に関する関心ごと、おすすめの景観資源、問題と感じている景観について広く把握する目的で実施しました。

（２）調査の概要

- 調査対象 : LINE で和泉市を友達登録している約 86,000 人
- 実施期間 : 令和 4 年（2022）7 月 29 日（金）～同年 8 月 10 日（水）
- 調査方法 : LINE による配布回収（ホームページ、窓口を併用）

（３）回答状況

- 回答件数 : 2,458 件（約 3％）

（４）調査結果の概要（まとめ）

アンケート調査の結果、市民の景観に対する関心度の高さが伺えたものの、満足度に関しては関心度を大きく下回る結果となっており、良好な景観の形成に向けた取組みが求められていることが確認できました。大切にしたい景観や好きな景観・眺望については、日常的に触れる身近な景観が多く選択される一方で、「特にない・わからない」といった意見が一定数あるなど、景観スポットなどの認知度を高めるための情報発信などの工夫が必要であることが明らかになりました。

また、景観を損ねているものについても、選択肢では「電線」や「看板」、その他では「雑草」など、日常的に目に触れることが多いものが選択されており、身近なところからの対策が望まれる結果でした。なお、具体的な対策として、市が重視すべきものとしては、「歴史的なまちなみの保全」が多く回答されましたが、小栗街道沿いのまちなみに対する意見を見ても、歴史的な景観を保全しながらも新たな価値を生み出す工夫が求められているものと分析されます。

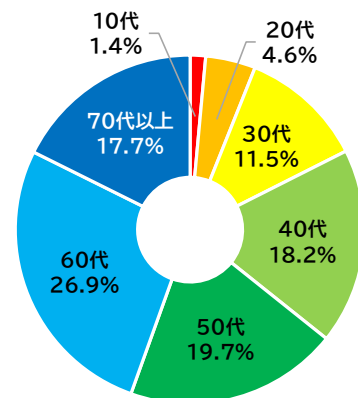
今後の良好な景観づくりのための活動への参加については、参加意向が強いものの、内容や時間的な制約などの条件がある場合が見られ、自由意見欄にもあるように、行政側の情報発信や啓発活動など、誰もが参加しやすい環境づくりを市民と協働で取り組むことが求められています。

(5) 設問ごとの回答

【問1】年齢

- ・ 60代、70代以上で全体の44.6%となっています。
- ・ 市全体の60代以上の構成比（約30%）と比べても、高齢者の回答率が高いことがわかります。

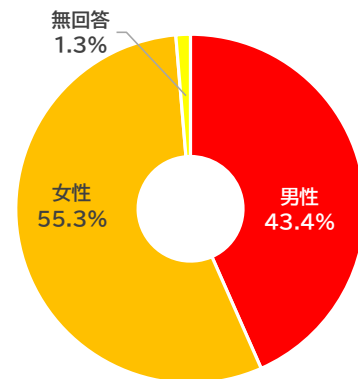
	回答数	構成比
10代	35	1.4%
20代	114	4.6%
30代	283	11.5%
40代	447	18.2%
50代	485	19.7%
60代	660	26.9%
70代以上	434	17.7%
合計	2,458	100.0%



【問2】性別

- ・ 女性の割合が55.3%となっています。
- ・ 市全体の女性の構成比（約51%）と比べても、女性の回答率が高いことがわかります。

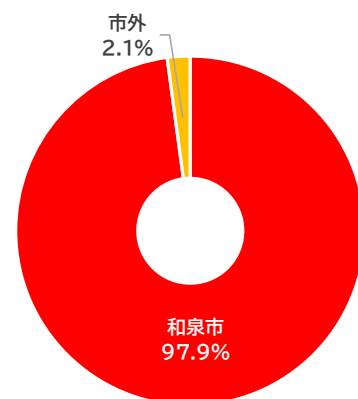
	回答数	構成比
男性	1,066	43.4%
女性	1,359	55.3%
無回答	33	1.3%
合計	2,458	100.0%



【問3】住まい

- ・ 和泉市在住が97.9%となっています。
- ・ 市外の方からも50件以上の回答が得られました。

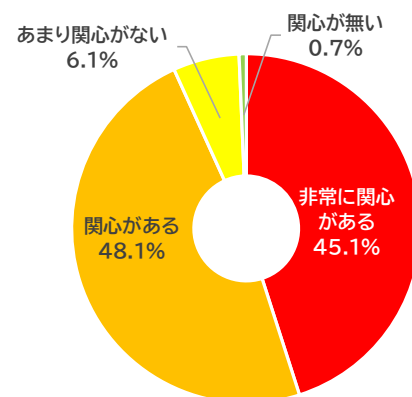
	回答数	構成比
和泉市	2,406	97.9%
市外	52	2.1%
合計	2,458	100.0%



【問4】和泉市の景観に関心をお持ちですか。

- ・ 「非常に関心がある」、「関心がある」を合わせて93.2%となっており、回答者の景観に対する関心度の高さがわかります。

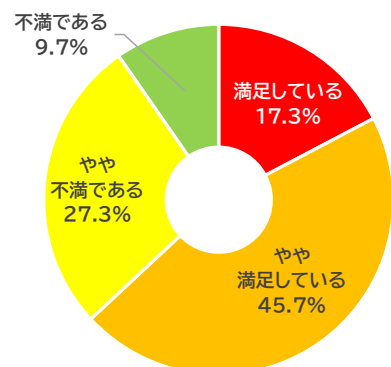
	回答数	構成比
非常に関心がある	1,108	45.1%
関心がある	1,183	48.1%
あまり関心がない	151	6.1%
関心がない	16	0.7%
合計	2,458	100.0%



【問5】和泉市の景観に満足していますか。

- ・「満足している」、「やや満足している」を合わせて 63.0%となっており、一定程度以上の満足度があることがわかります。
- ・関心度の高さに比べて満足度の高さが低いことから、関心はあるが、満足していない回答者の割合が30%程度いることがわかり、景観施策を通じて満足度を向上していくことが大切であるといえます。

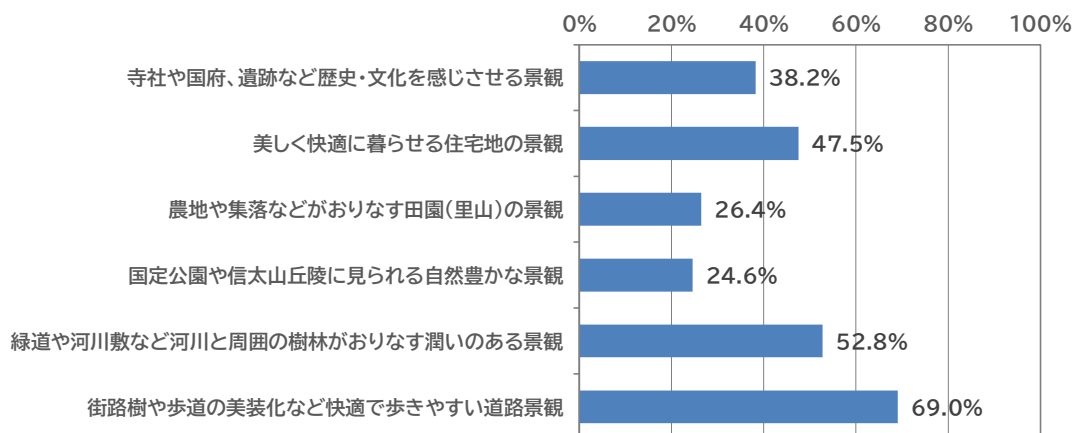
	回答数	構成比
満足している	426	17.3%
やや満足している	1,124	45.7%
やや不満である	670	27.3%
不満である	238	9.7%
合計	2,458	100.0%



【問6】大切にしたいと考える景観を教えてください。(3つ以内で選択)

- ・回答者の約5割が「街路樹や歩道の美装化など快適で歩きやすい道路景観」(69.0%)、「緑道や河川敷など河川と周囲の樹林がおりなす潤いのある空間」(52.8%)、「美しく快適に暮らせる住宅地の景観」(47.5%)を選択しており、身近な住環境や日常的に利用する場の景観を大切にしたいと思う人が多いことがわかります。

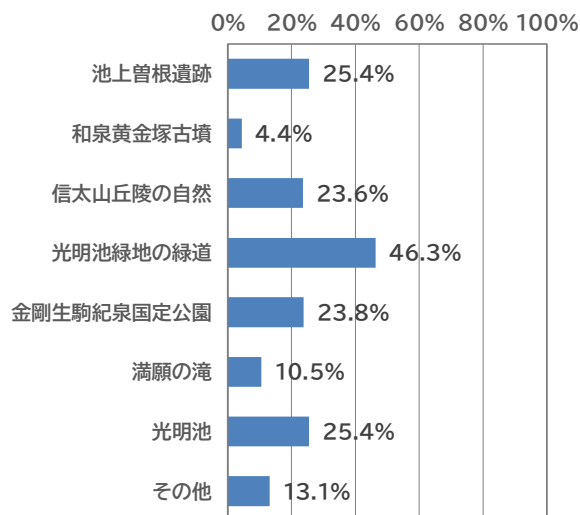
	回答数	回答割合
寺社や国府、遺跡など歴史・文化を感じさせる景観	940	38.2%
美しく快適に暮らせる住宅地の景観	1,168	47.5%
農地や集落などがおりなす田園(里山)の景観	649	26.4%
国定公園や信太山丘陵に見られる自然豊かな景観	604	24.6%
緑道や河川敷など河川と周囲の樹林がおりなす潤いのある景観	1,297	52.8%
街路樹や歩道の美装化など快適で歩きやすい道路景観	1,697	69.0%



【問7】好きな景観（スポット）を教えてください。（3つ以内で選択）

- ・約半数（46.3%）の回答者が「光明池緑地の緑道」を選択しており、日常的に訪れるような身近なスポットが選ばれており、市民の憩いの場となるような身近な場所の景観形成が特に大切であることがうかがえます。

	回答数	回答割合
池上曽根遺跡	624	25.4%
和泉黄金塚古墳	108	4.4%
信太山丘陵の自然	579	23.6%
光明池緑地の緑道	1,138	46.3%
金剛生駒紀泉 国定公園	584	23.8%
満願の滝	259	10.5%
光明池	625	25.4%
その他	323	13.1%



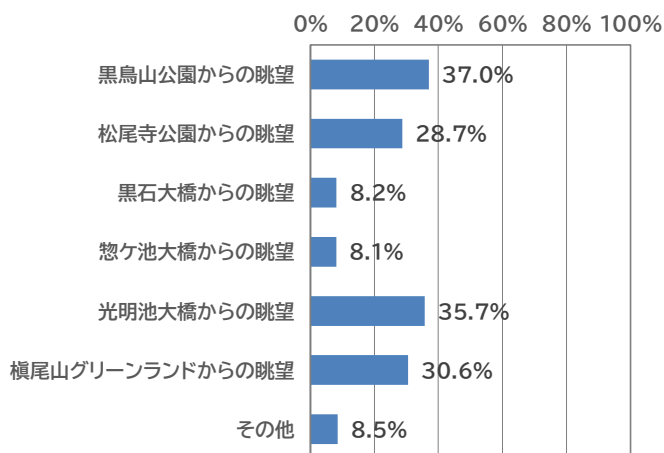
※「その他」の主な内訳

松尾寺周辺（34件）、和泉中央駅周辺（29件）、中央公園（23件）、リサイクル環境公園（23件）、久保惣記念美術館周辺（20件）、黒鳥山公園（17件）、特になし・わからない（44件）

【問8】好きな眺望を教えてください。

- ・光明池大橋や黒鳥山公園など、散歩などで日常的に訪れるような身近なスポットからの眺望が多く挙げられており、日常的に目にする眺望の保全が特に大切であることがうかがえます。
- ・一方で、「特になし・わからない」という意見も50件を超えており、眺望に関する情報発信等が大切であるといえます。

	回答数	回答割合
黒鳥山公園 からの眺望	909	37.0%
松尾寺公園 からの眺望	705	28.7%
黒石大橋 からの眺望	202	8.2%
惣ヶ池大橋 からの眺望	199	8.1%
光明池大橋 からの眺望	878	35.7%
榎尾山グリーンランド からの眺望	751	30.6%
その他	210	8.5%



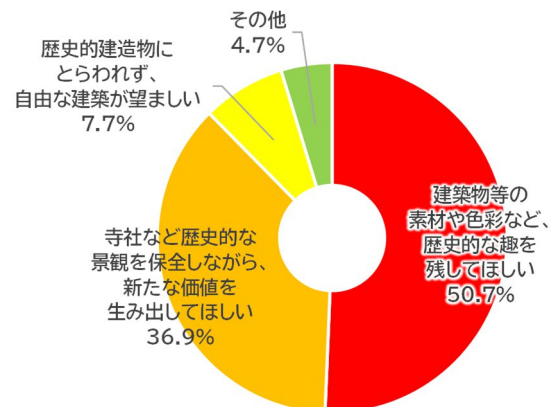
※「その他」の主な内訳

和泉中央駅からの眺望（39件）、自宅からの眺望（9件）、特になし・わからない（54件）

【問9】小栗街道沿いの歴史的なまちなみをどう思いますか。

- ・「建築物等の素材や色彩など、歴史的な趣を残してほしい」、「寺社など歴史的な景観を保全しながら、新たな価値を生み出してほしい」を合わせて 87.6% となっており、歴史的な景観の保全を求める声が多いことがわかります。このうち、「寺社など歴史的な景観を保全しながら、新たな価値を生み出してほしい」は 36.9% であり、歴史を活かした新たな価値の創出も必要であるといえます。

	回答数	構成比
建築物等の素材や色彩など、歴史的な趣を残してほしい	1,245	50.7%
寺社など歴史的な景観を保全しながら、新たな価値を生み出してほしい	908	36.9%
歴史的建造物にとらわれず、自由な建築が望ましい	189	7.7%
その他	116	4.7%
合計	2,458	100.0%

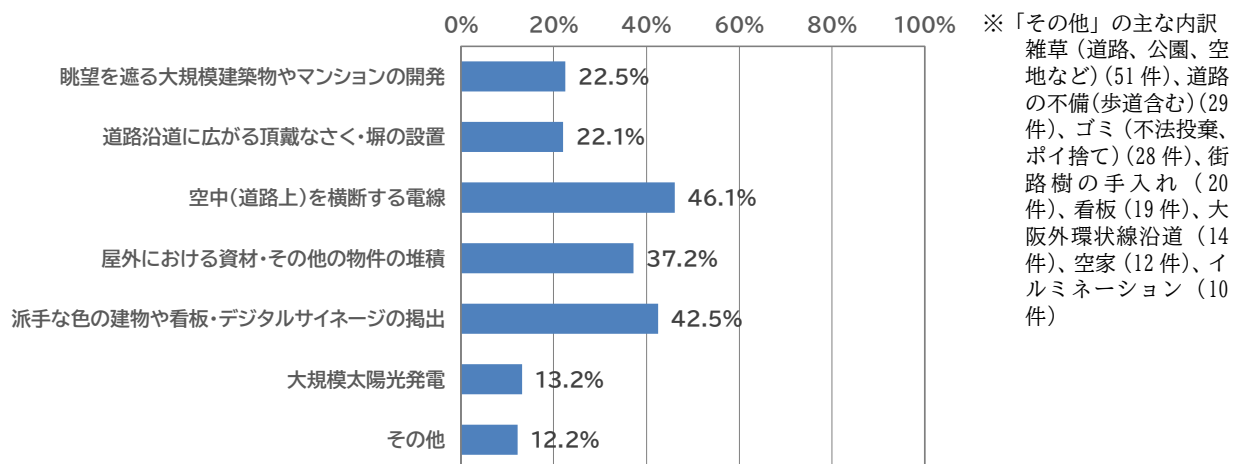


【問10】和泉市の景観を損ねていると考えるものはどの項目だと思いますか。

(3つ以内で選択)

- ・4割を超える回答者が「空中（道路上）を横断する電線」(46.1%)、「派手な色の建物や看板・デジタルサイネージの掲出」(42.5%)を選択しており、日常的に目に触れることが多いものが選択されていることがわかります。

	回答数	回答割合
眺望を遮る大規模建築物やマンションの開発	552	22.5%
道路沿道に広がる頂戴なさく・塀の設置	542	22.1%
空中（道路上）を横断する電線	1,133	46.1%
屋外における資材・その他の物件の堆積	914	37.2%
派手な色の建物や看板・デジタルサイネージの掲出	1,045	42.5%
大規模太陽光発電	325	13.2%
その他	300	12.2%



【問 11】和泉市の景観の魅力を高めるため、市は何に重視して取り組むべきと思いますか。
(3つ以内で選択)

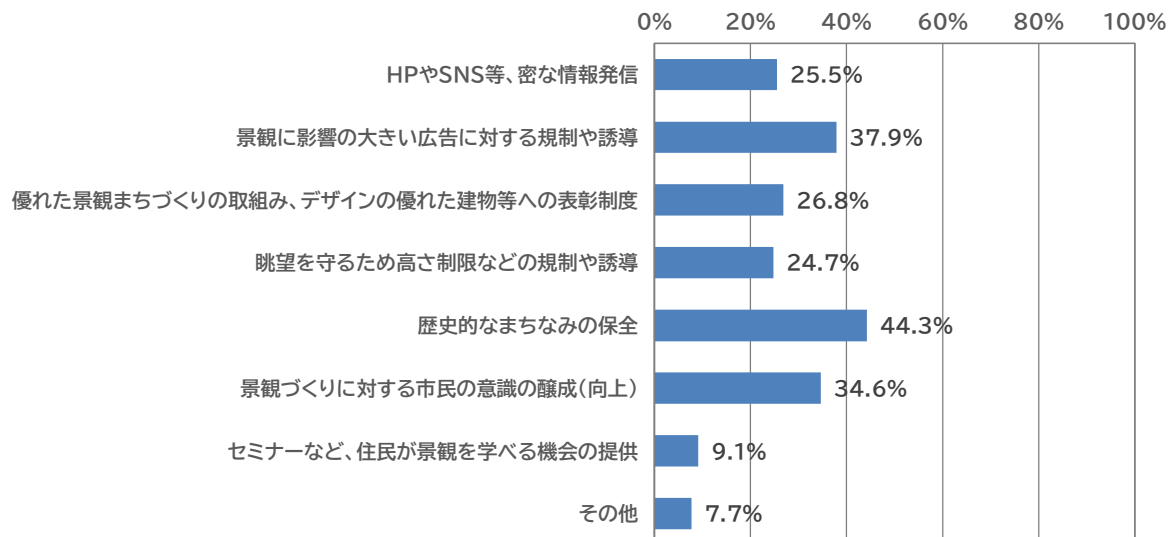
- ・全体では、「歴史的なまちなみの保全」(44.3%)が4割を超えていますが、年代別にみると20代では、「HPやSNS等、密な情報発信」(42.1%)が4割を超え、40代以上では、「歴史的なまちなみの保全」が4～5割を占める結果となるなど、世代間での差が見られました。

	回答数 回答割合	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上
HPやSNS等、密な情報発信	626 25.5%	11 31.4%	48 42.1%	81 28.6%	127 28.4%	124 25.6%	160 24.2%	75 17.3%
景観に影響の大きい広告に対する規制や誘導	932 37.9%	6 17.1%	25 21.9%	92 32.5%	158 35.3%	198 40.8%	264 40.0%	189 43.5%
優れた景観まちづくりの取組み、デザインの優れた建物等への表彰制度	659 26.8%	9 25.7%	38 33.3%	102 36.0%	119 26.6%	122 25.2%	161 24.4%	108 24.9%
眺望を守るため高さ制限などの規制や誘導	608 24.7%	12 34.3%	19 16.7%	55 19.4%	131 29.3%	113 23.3%	163 24.7%	115 26.5%
歴史的なまちなみの保全	1,088 44.3%	10 28.6%	42 36.8%	89 31.4%	176 39.4%	235 48.5%	326 49.4%	210 48.4%
景観づくりに対する市民の意識の醸成(向上)	851 34.6%	8 22.9%	23 20.2%	74 26.1%	139 31.1%	163 33.6%	261 39.5%	183 42.2%
セミナーなど、住民が景観を学べる機会の提供	224 9.1%	2 5.7%	10 8.8%	17 6.0%	27 6.0%	43 8.9%	66 10.0%	59 13.6%
その他	190 7.7%	1 2.9%	9 7.9%	27 9.5%	43 9.6%	46 9.5%	45 6.8%	19 4.4%

※「その他」の主な内訳

草刈り(23件)、道路の整備(17件)、市民意見の反映(10件)

※年代別集計の回答割合は、各年代の回答者数に対する割合。青色の網掛けは、各年代で最も回答割合が高いもの。



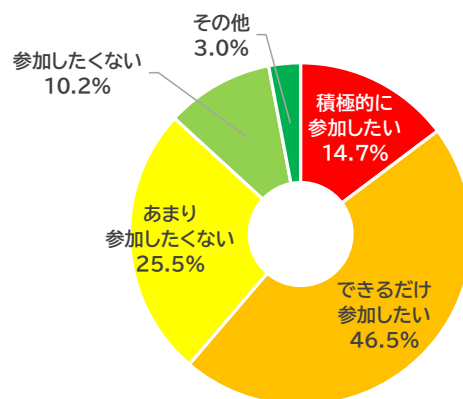
【問 12】和泉市の良好な景観づくりのための活動（花植え・清掃・ワークショップなど）に参加したいと思いますか。

- ・「積極的に参加したい」、「できるだけ参加したい」を合わせて 61.2%となっており、参加意向が高いことがわかります。一方で、「その他」に「仕事次第・余裕があれば」（15 件）とあるように、さらなる参加意向の向上や実際の参加促進のためには、時間的制約などの条件を考慮するなど、広く市民が参加できるような工夫が必要であるといえます。
- ・また、景観に対する関心度は高い（問 4 参照）一方で、「あまり参加したくない」、「参加したくない」という人も多く、景観づくりを自分事として捉えていけるような意識啓発が大切であるといえます。

	回答数	構成比
積極的に参加したい	362	14.7%
できるだけ参加したい	1,144	46.5%
あまり参加したくない	628	25.5%
参加したくない	250	10.2%
その他	74	3.0%
合計	2,458	100.0%

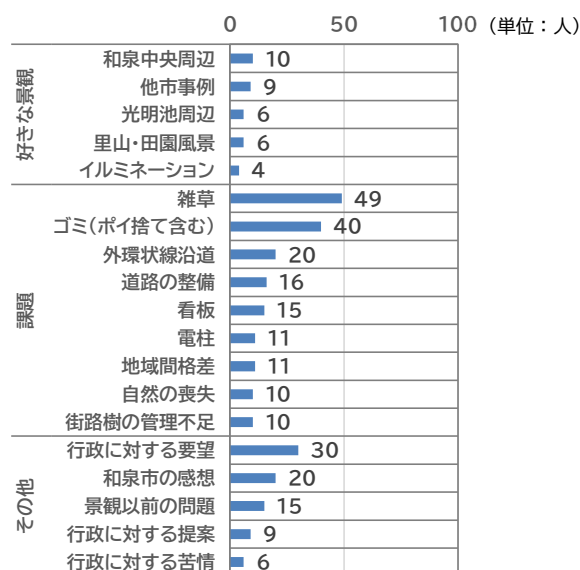
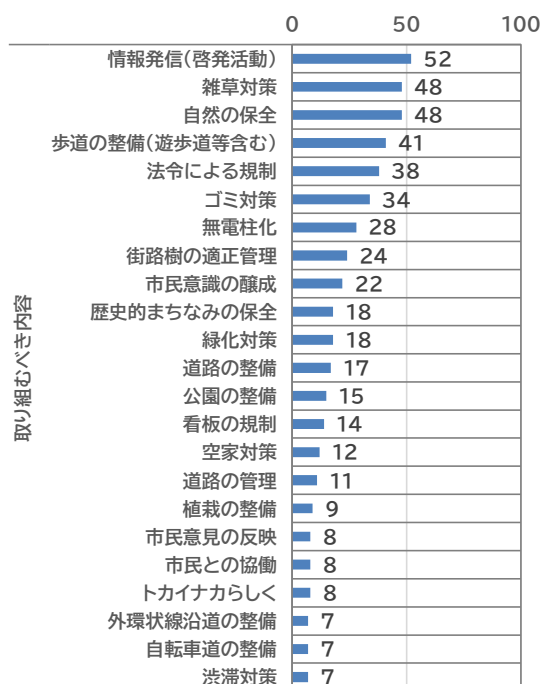
※「その他」の主な内訳

子供と一緒にできる内容（6 件）、内容による（5 件）、清掃活動（5 件）、仕事次第・余裕があれば（15 件）



【問 13】良好な景観に関して、あなたのご意見・提案をご自由にお書きください。

- ・取り組むべき内容についての意見は多岐にわたりますが、課題に対するものを除くと、情報発信や啓発活動など、市民の景観意識の醸成や市民との協働の取組みについての意見が多くあげられました。また、景色を楽しみながら歩ける歩道や自転車道の整備等の基盤整備に対する意見も見られました。
- ・課題については、「雑草」、「ゴミ」など、日常の生活の中で気になる身近な課題が多く見られました。



※自由記述欄の記載内容について、主旨を考慮しながら、ポイントとなる語句を抽出、改めて「好きな景観」、「課題」、「取り組むべき内容」、「その他」に分類し整理しなおした。